

総合計画策定推進本部 第4回本部会議 会議概要

【開催概要】

日時 令和4年2月7日(月)午前9時40分～

会場 市役所本館3階 対策本部会議室

出席者 本部長・副本部長・本部員 ほか

【会議概要】

■本部長指示(中原市長)

- 次期総合計画の策定に向けて各部局で検討を進めていると思うが、この度のアンケートやワークショップで寄せられた市民の皆様の思いをしっかりと汲み取って、計画に反映してほしい。
- 将来にわたって心豊かに暮らせる持続可能な新潟市、そして、明るい未来に向かって進化する新潟市を築く計画ができるよう、全庁一丸となって取り組んでいこう。

■議事

資料に基づき事務局(政策調整課長)より説明。

- 現時点における次期総合計画の基本的考え方を共有する。
- 資料左側には、次期総合計画策定の土台とするものとして、
 - 「1. 現行計画策定以降における社会環境の変化」、
 - 「2. ウイズコロナ・ポストコロナ時代におけるまちづくりの基本的方向性」を記載している。
- 資料右側の上の方には、「3. 市民意見・新潟市の強み」を記載している。
昨年行ったLINEアンケートやワークショップなどで、市民の皆様から寄せられたご意見の一部を抜粋して記載している。市民参加事業でいただいた意見や、それを通じて再認識した新潟市の強みを土台としながら、次期総合計画を策定していく。
- これら1～3で示した要素を踏まえて、「4. 次期総合計画の基本的考え方」を記載している。
- まず、急速に進行する人口減少と少子高齢化への対応が、引き続き新潟市の最重要課題になる。
新型コロナウイルス感染症による社会の変化への対応、脱炭素を含めたSDGsへの対応も急務になっている。
- このような状況において、新潟市が大切にすべきものは持続可能性、「市民が心豊かに暮らし続けられること」である。そして、それを確保するためには、「都市部と田園地域の調和がもたらす暮らしやすさ」など本市の強みを活かし、国内外から選ばれるべく、官民の総力を結集して本市の存在感を高めていくことが重要と考えている。
- 健全な行財政運営のもとに「市民が心豊かに暮らせる持続可能な新潟市」「明るい未来に向かって進化する新潟市」を築いていくことが、次期総合計画の基本的な考え方である。
- 『策定のポイント』として、第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化すること、SDGsを意識した計画にすること、成果指標を設定することなどを挙げている。
- 今後、この基本的考え方を市議会に対しても報告していく。感染症対応業務などが重なるなかではあるが、策定に向けて協力願いたい。